

	桔梗が丘自治連合協議会 平成25年度 第5回 理 事 会 議 事 録
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成25年9月28日（土） 9：30～12：05
出 席 者	出席者・辻森、大垣、上田、武仲、斉藤（鈴木代理）、阪本、野邊、竹原、吉野、加納、梅本、中村、山中、松村、福森監事。 森田地域担当監。 欠席者・河合、西宮、廣岡、田合監事。
議 事 決議事項 1. 議事録署名人 2. 地域環境ねっと事業実施計画について 3. ききょう農楽園プロジェクト実施計画について	大垣副会長が司会を務め会議が始まった。 辻森会長の挨拶の要旨 「8月24日の桔梗が丘夏まつり行事から始まって、9月は敬老の日の行事、そして10月の公民館展、11月のききょう健康まつりと行事が続きます。各部会や自治連合会の皆さんには、ご多忙中のところ、ご協力方よろしく申し上げます。 一方、次年度に向けて、地域ビジョンに基づく新規プロジェクト3事業も新たに検討が始まります。地域の皆さん、一人でも多くの方に参画いただき、まちづくりを活性化させ、今後の課題を発見することにもつながって行くと思っています。どうぞよろしく申し上げます」。 辻森会長が議長となり会議が始まった。 自治連合協議会規約第46条第2項の規定により、議事録署名人に吉野孝司氏、梅本久子氏を選任し承認された。 議長から、「議案2. 地域環境ねっと事業実施計画について、及び議案3. ききょう農楽園プロジェクト実施計画についての2議案を合わせて審議いたします」と述べた。 阪本企画運営委員長から、平成26年度からスタートする“ほっとまち”構想の2プロジェクト、3事業の全体計画について添付資料に基づき概ね次の様に説明があった。 「平成26年度の名張市ゆめづくり協働事業に次の2プロジェクト、3事業を申請したいと考えています。1. 地域環境ねっとプロジェクト事業は（1）みどり環境整備保全事業、（2）桔梗が丘住居表示設置事業の2事業を、もう1つは2. ききょう農楽園プロジェクトです。 事業予算はみどり環境整備保全事業が130万円、桔梗が丘住居表示設置事業が170万円、ききょう農楽園プロジェクトが130万円で

す。合計で430万円となります。名張市へのゆめづくり協働事業助成金申請は予算額の90%、合計387万円とし、当協議会の負担額を10%の43万円として今月末に申請を予定しています。(予算の詳細額は資料参照)。尚この額は予め保証されたものでは有りませんので、年内に予定されている選考結果によっては、事業に優先順位を付けることになると思っています。現在の名張市側の説明では助成金は事業毎か、全ての事業合わせたものになるのかも明確になっておりません。

尚、ききょう農楽園プロジェクトは平成25年度中に約300㎡を土壌改良をしたいと考えています。この費用約15万円は企画運営費の調査費から支出していただきたいと考えています。

これは平成26年度の本格的な運用に備えて、農地の整備・水の確保等の準備をしなければならないからです。

それでは、個別の事業について、それぞれ担当いただいている方からご提案を致します」と述べた。

1. 地域環境ねっとプロジェクト

(1) みどり環境整備保全事業

加納プロジェクト委員から、みどり環境整備保全事業について、別添え資料に基き概ね次のような提案があった。

「この事業は地域ビジョン“桔梗が丘ほっとまち”基本構想・地域環境ねっとの構築「水と緑を大切にし、恵まれた自然を生かしたまちづくり」に基くものです。事業費は130万円(名張市交付金117万円、協議会負担金13万円)で、この事業は桔梗が丘地区に残された多くの自然緑地の整備・管理を行政に任せるだけでなく、自らの手で組織を立ち上げ、きめ細かな管理のもと、恵まれた自然環境の整備を目的とするものです。

具体的な事業内容は、既存の「桔梗が丘みどりの会」というボランティアの任意団体と協議会が連携しながら、11号公園、西2号公園、10号公園などの管理作業を充実させていきます。

そのためには機械整備も必要になり、また適正な器具の使用訓練も必要になります。更に住民が親しく集うイベント等も開催したいと考えております。こうした事業を継続していくためには一定の財源確保と、行政側と連携を図りながら、管理作業業務の委託を受けることも視野に入れ、組織的な活動を行なっていくものです」と述べた。

引き続き、事業の収支予算、事業実施にともなう必要な購入備品の詳細な説明があり、更に旧10号公園管理委員会が所有していた備品を睨みながら整備を進めていく旨を述べた。(詳細資料参照)

(2) 桔梗が丘住居表示設置事業

次に、吉野プロジェクト委員から、桔梗が丘住居表示設置事業について、別添え資料に基き概ね次のような提案があった。

「本事業は地域ビジョン“桔梗が丘ほっとまち”基本構想・地域環境ねっとの構築に基くものです。

基本計画は桔梗が丘地域全般に亘り街区及び住居表示板を設置するものです。事業費は170万円（名張市交付金153万円、協議会負担金17万円）です。

本事業は住居表示に関する法律に準じるものです。因みに名張市にはこれに関する条例は制定されておりません。

事業目的は、桔梗が丘地域は開発以来、地名、地番共新しく策定されたが、住民の居場所を案内する表示が無く、来訪者、住民が不便を感じています。そこで、住居表示版（街区表示板、町内表示板、住所番号表示板）を設置し、防災・安全・福祉の増進に寄与すると共に、分かり易いまちづくりを行い、交流の便宜と福祉の増進を図ります。

具体的な事業内容は、桔梗が丘全地区に亘って設置することとし、街区表示板は電柱、町内表示板は道路の分岐、角の塀に設置、住居番号表示板は賛同頂いた各家庭に設置を予定しています」と述べた。

引き続き、事業の収支予算及び表示板製作に関する経費及び備品の詳細な説明があった。（詳細資料参照）

その後、街区表示板について、先日、各自治会長・区長に依頼した各地区内の電柱の調査結果に基づく設置概数の報告があった。初年度に設置できる数及び地区は優先順位をつけながら、一方予算との整合性をみて検討を続け、継続事業とすることも視野に入れて行きたい旨を述べた。

2. ききょう農楽園プロジェクト

福森プロジェクト委員から、ききょう農楽園プロジェクトについて、別添え資料に基き概ね次のような提案があった。

「本事業は地域ビジョン“桔梗が丘ほっとまち”基本構想・生きがい・健康に基くものです。事業費は130万円（名張市交付金117万円、協議会負担金13万円）です。事業目的は当地区にききょう農楽園と名付ける市民農園・共同農園を開設し、農園芸を通して地域住民の交流と健康で生き生きとした生活の創生を目指すものです。具体的な事業内容は、桔梗が丘西4番町地内の桔梗が丘中学校第2グラウンド東側の市有地約3000㎡。この土地を名張市及び桔梗が丘中学校の許可を得て、共同農園、市民農園として開設を予定しています。但し現在、この土地は農地とするには土壌の改良をしなければなりません。そこで、平成25年度に約300㎡を試験的に開墾する事とし、その成果を元に平成26年度名張市ゆめづくり協働事業として申請し、本格的な事業展開を図って行きたいと考えています」と述べた。

引き続き、事業の収支予算、事業実施にともなうインフラ整備事業（上水道工事）及び必要な購入備品の詳細な説明があった。（詳細資料参照）

「この事業に参加する会員は、広く地域全体に呼び掛ける事にし、初回は来月 10 月に地区回覧をすることになっています。

平成 27 年度以降の展開は、会員より会費を徴収すると共に、農産物の販売、農地の市民農園としての貸出し等による収益を目指し、農楽園の運営に当てる計画であります」と述べた。

引き続き議長は出席者の意見を求めた。

＜出席者の意見＞

(1) みどり環境整備保全事業は特に意見は無く、提案どおり名張市ゆめづくり協働事業に申請することが、全員異議無く承認された。

(2) 桔梗が丘住居表示設置事業については、次のような意見が出された。

- ・表示板の設置は電柱に限らず、住宅の塀に了承を得て設置することも考えても良いのではない。(検討をする)

- ・各地区別(ブロック別でも良い)に、この事業の趣旨を住民に対して説明会を開催することが必要と考えます。(了承された)

- ・高齢者・一人暮らしの家庭の為に、住居表示と犯罪の観点からの関連性についての調査をして欲しい。(警察関係から情報を得て役立てたい。住居表示設置の最終判断は個々人が決定する。強制はしない)

- ・街区表示を先行して実施するのも良いのではないか。その後に住居表示をするのも一つの方法ではないか。

その他に意見は無く、提案どおり名張市ゆめづくり協働事業に申請することが、全員異議無く承認された。

2. ききょう農楽園プロジェクト

- ・今期(平成 25 年度)事業として約 300 m²の土壤改良費用として約 15 万円を企画運営費の調査費から支出すると説明がありましたが、これは本来の支出目的から外れるではありませんか。別の項目から支出する方が良いのではないか。

大垣副会長: この費用は総務費のビジョン新規事業費 50 万円から支出することにしたい(了承された)

- ・農地の土壤改良費用の積算の方法はどうなっていますか。

(農耕作業関係は農業委員会の本年度の作業賃金を元にし、土木工事関係はインターネット及び工事業者に聞き取り一般的な費用を見積もって作成しました)

- ・ききょう農楽園とみどり環境整備保全事業の備品購入で、重なる部分があるようなので、効率的に購入する方法を検討されてどうか。備品と消耗品の区別も含めて。

(実際の購入時には、全てについて一度摺り合せをして、無駄の無いようにする。最終的には備品台帳の整備も行なう)

その他に意見は無く、提案どおり名張市ゆめづくり協働事業に申請す

4. ききょう健康まつりの実施計画(案)について

ることが、全員異議無く承認された。

辻森会長から、「名張市に対してお願いします。住民の為に住民の協力を得て、殆どの事業は継続して行なうものです。次年度の交付金配分はこうした点も考慮願いたい」と述べた。

大垣副会長から、「健康推進部会長は只今の時間、健康講座を実施されていますので、代わって説明をします。

11月4日(月・祝)に実施します平成25年度ききょう健康まつりの実施計画についてご説明します。

実施目的は子どもから高齢者の方まで、楽しみながら健康について再認識していただく機会とし、地域住民の健康増進を図るものです。

実施にあたっては健康推進部会が中心となり、まちの保健室、名張市健康支援室、伊賀歯科医師会等各種団体の協力を得て実施します。

内容は昨年度と殆ど同じですが、セントラルフィットネスクラブが廃業しましたので、それに代わるものとして竹政先生のリズム体操を行ないます。又、ウォーキングについては今年度は6月に既に実施済みです。

先日の連合会で、配布資料に記載のように協力をお願いしました」と述べた。

出席者からは特に意見は無く、引き続き、議長はききょう健康まつりの実施計画(案)について諮ったところ、全員異議無く承認された。

5. 桔梗が丘夏まつりの決算報告承認について

松村事務局次長から、本年度の桔梗が丘夏まつりの決算報告が別添え資料に基き概ね次の様に説明があった。

収入の部

協賛金	997,000円(131件)
繰出金	900,000円
雑収入	27,023円
合計	1,924,023円

協賛金の合計は昨年に比べると約7万円の減となりました。

支出の部

事務経費	99,334円(事務費とお礼)
食料費	105,149円(弁当、お茶)
舞台 照明費	702,640円(イベント用)
イベント費	3,000円(講師お礼)
広報費	77,105円(チラシ等)
警備費	166,635円(警備員12人)
シャトルバス	105,420円(三重交通)
緑日費	521,886円(模擬店利用券・レンタカー・テント賃貸料・子ども用景品代等)

	合計 1,781,169円 残額142,854円は繰出し金に戻し入れをしました」と述べた。 なお、この決算書は中村公民館長が監査をした旨を報告した。 議長は以上の報告に対し意見をもとめたが、特に意見は無く全員異議無く桔梗が丘夏まつりの決算報告は承認された。 松村事務局次長から、本年度の敬老の日の行事の決算報告が別添え資料に基き概ねの次の様に説明があった。 収入の部 <table> <tr> <td>繰出し金</td><td>1,700,000円</td></tr> <tr> <td>雑収入</td><td>13円</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>1,700,013円</td></tr> </table> 支出の部 <table> <tr> <td>記念品費</td><td>644,000円 (商品券)</td></tr> <tr> <td>お祝い品</td><td>1,008,000円 (お菓子)</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>1,652,000円</td></tr> </table> 残額48,013円は繰出し金に戻し入れをしました」と述べた。 なお、この決算書は中村公民館長が監査をした旨を報告した。 議長は以上の報告に対し意見をもとめたが、特に意見は無く全員異議無く敬老の日の行事の決算報告は承認された。 議長は、「決議事項は以上です。続いて報告事項に移ります」と述べた。	繰出し金	1,700,000円	雑収入	13円	合計	1,700,013円	記念品費	644,000円 (商品券)	お祝い品	1,008,000円 (お菓子)	合計	1,652,000円						
繰出し金	1,700,000円																		
雑収入	13円																		
合計	1,700,013円																		
記念品費	644,000円 (商品券)																		
お祝い品	1,008,000円 (お菓子)																		
合計	1,652,000円																		
報告事項 1. 平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告について	松村事務局次長から、平成25年度協議会会計及び公民館会計累計報告(平成25年8月末)について、別添え資料に基づき概ね次の様に報告があった。 <協議会会計> 収入の部 (主な科目のみ) <table> <tr> <td>市社協補助金</td><td>110,000円 (見守り事業)</td></tr> <tr> <td>雑収入</td><td>584円 (預金利息)</td></tr> <tr> <td>収入合計</td><td>110,584円</td></tr> </table> 支出の部 (主な科目のみ) <table> <tr> <td>人件費</td><td>768,274円 (職員給与)</td></tr> <tr> <td>総務費</td><td>8,000円 (切手代)</td></tr> <tr> <td>広報費</td><td>930円 (USBメモリー)</td></tr> <tr> <td>健康推進費 (事業費)</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>1,760,150円 (敬老の日の行事他)</td></tr> <tr> <td>地域福祉費 (事業費)</td><td>10,000円 (いきいきサロン)</td></tr> </table>	市社協補助金	110,000円 (見守り事業)	雑収入	584円 (預金利息)	収入合計	110,584円	人件費	768,274円 (職員給与)	総務費	8,000円 (切手代)	広報費	930円 (USBメモリー)	健康推進費 (事業費)			1,760,150円 (敬老の日の行事他)	地域福祉費 (事業費)	10,000円 (いきいきサロン)
市社協補助金	110,000円 (見守り事業)																		
雑収入	584円 (預金利息)																		
収入合計	110,584円																		
人件費	768,274円 (職員給与)																		
総務費	8,000円 (切手代)																		
広報費	930円 (USBメモリー)																		
健康推進費 (事業費)																			
	1,760,150円 (敬老の日の行事他)																		
地域福祉費 (事業費)	10,000円 (いきいきサロン)																		

	支出合計 2, 547, 354円 8月末の収入累計21, 158, 972円から支出累計12, 817, 292円を控除し預かり金570円を加えた預金残高は8, 342, 250円となっています。 <公民館会計> 収入の部（主な科目のみ） <table> <tr> <td>使用料</td><td>400, 250円</td></tr> <tr> <td>雑収入</td><td>285円</td></tr> <tr> <td>収入合計</td><td>400, 535円</td></tr> </table> 支出の部（主な科目のみ） <table> <tr> <td>管理費（消耗品費）</td><td>10, 181円</td></tr> <tr> <td>〃（光熱水費）</td><td>296, 582円</td></tr> <tr> <td>〃（委託・手数料）</td><td>195, 102円</td></tr> <tr> <td>〃（備品購入費）</td><td>268, 967円（パソコン、消火器）</td></tr> <tr> <td>〃（使用料等）</td><td>24, 396円（リース料）</td></tr> <tr> <td>運営費（報償費）</td><td>35, 000円（講師料）</td></tr> <tr> <td>（郵便料）</td><td>10, 000円（はがき）</td></tr> <tr> <td>〃（事業費）</td><td>6, 550円（講座運営費）</td></tr> <tr> <td>支出合計</td><td>879, 781円</td></tr> </table> 8月末の収入累計9, 645, 070円から支出累計6, 888, 459円を控除し手持ち現金119, 553円を控除した結果、預金残高は2, 637, 058円となっています」と述べた。 以上の報告に対して特に質問は無く、報告は了承された。	使用料	400, 250円	雑収入	285円	収入合計	400, 535円	管理費（消耗品費）	10, 181円	〃（光熱水費）	296, 582円	〃（委託・手数料）	195, 102円	〃（備品購入費）	268, 967円（パソコン、消火器）	〃（使用料等）	24, 396円（リース料）	運営費（報償費）	35, 000円（講師料）	（郵便料）	10, 000円（はがき）	〃（事業費）	6, 550円（講座運営費）	支出合計	879, 781円
使用料	400, 250円																								
雑収入	285円																								
収入合計	400, 535円																								
管理費（消耗品費）	10, 181円																								
〃（光熱水費）	296, 582円																								
〃（委託・手数料）	195, 102円																								
〃（備品購入費）	268, 967円（パソコン、消火器）																								
〃（使用料等）	24, 396円（リース料）																								
運営費（報償費）	35, 000円（講師料）																								
（郵便料）	10, 000円（はがき）																								
〃（事業費）	6, 550円（講座運営費）																								
支出合計	879, 781円																								
2. 名張市内新高校設置に関する地域の意見提出について	辻森会長から、名張市内新高校設置に関する地域の意見提出について次の様に報告があった。 「8月8日付けの県知事の回答を受け、9月1日付けで再度、鈴木三重県知事に要望書を、亀井名張市長、上島教育長宛にはお願い書を提出しました。内容に付いては先月に報告したものから一部変更をしています。まず、鈴木三重県知事には要望書としました。又名張市側には亀井市長及び上島教育長に対しても同様のお願い書を提出しました。本日、写しを配布していますので確認をして下さい。内容は跡地利用検討委員会には地域代表者が参画できるよう要望しました。 一方、平成30年度まで在校生が充実した学校生活を送れるよう十分配慮願いたいと申し入れをしました。名張市に対しては、関連する事項に対して賢明なフォローを要望しました」と述べた。																								
3. 名張市総合防災訓練の概要報告	辻森会長から、9月22日実施された名張市総合防災訓練の結果について概ね次のような報告があった。 「先日の防災訓練で桔梗が丘地域では、各自治会住民はそれぞれ指定																								

	の一時避難所まで避難し、各責任者が安否確認の後、防災無線を通じて災害対策本部に連絡する訓練を行ないました。参加をされた地区の一覧と参加人数を資料にして、配布をしています。参加者は全部で790人でした。 桔梗が丘地区の災害対策本部は、公民館建物の点検の後、公民館に設置をし、関係箇所と防災無線を通じて連絡を取りました。訓練終了後は防災コーディネーターと市職員を交えて、反省会を持ちました。その中で課題として残ったのは、防災無線の扱が未習熟であったのと、台数不足のことでした。他のメディアの利用方法を考える必要があると思います。又今後こうした訓練を各区・自治会で取り組んでもらえるよう働きかけをしていきます。只残念でしたのは、お一人けが人が出たことです。(訓練の帰路での事故でした。名張市市民活動補償制度に申請します)。
4. 平成25年度桔梗が丘公民館展実施について	中村公民館長から、平成25年度桔梗が丘公民館展実施について別添え資料に基き概ね次のような報告があった。 「本年度の公民館展は10月19日から20日の2日間実施します。本年度は実施時間の始めが30分早く、終わりも30分延びています。これは舞台発表のサークルが多くなった為です。詳細は資料をご覧ください。 又一番気にかかっていますのは駐車場のことです。今年もその整理を自治連合会の皆さんにご協力をお願いしています。本年度は29回目の公民館展になりますが、皆さんどうぞ足を運んでください。よろしくお願いします」と述べた。
5. 名張市社会福祉大会における被表彰者の推薦について	辻森会長から、「平成25年度第43回名張市社会福祉大会における被表彰者について、先月候補の方を申し上げたが、その中からボランティア・オーラックで絵を通じて子どもの育成に貢献されている4番町の石川勉さんを推薦することになった」と報告があった
6. 配食ボランティア2団体との懇談会の報告	辻森会長から、「9月21日、桔梗が丘地域で配食ボランティアをしている、「友～友」、「いこい」の2団体と懇談会を開催しました。その中で色々な要望がありましたが、当協議会が設置を検討している「何でもやお助けセンター」との連携を視野に入れていくために、10月8日に第1回目の会合開くことになりました。その中で今後の課題を纏めていくことにしたいと思っています。協議会からは阪本企画運営委員長と坂口委員に担当をお願いしました」と述べた。 大垣副会長から、配食サービスの弁当配達ボランティアの方の募集を2団体一緒に回覧を予定している旨を述べた。 <総務委員会> 大垣副会長（総務委員長）から、「本日の午後1時30分から「まち
7. 委員会・部会報告	

づくりに関する講演会“農を楽しむ”を公民館の大会議室で開催します。講師は伊賀市の全国愛農会の村上良平氏です。内容は新規プロジェクト「ききょう農楽園」の立ち上げに参考になるものです。どうぞご参加ください。

次に、今年度から新規プロジェクト事業が立ち上がってきていますが、これに伴う協議会規約の改定に関しては、現在鋭意検討を始めておりますので、いま少しお時間を頂きたい」と述べた。

<企画運営委員会>

阪本企画運営委員長から、「10月2日(水)午前9時30分から、ほっとまち茶房“ききょう”のグランドオープンの式典を亀井市長、奥村地域部長の出席を得て行ないます。皆さんも是非出席いただきますようお願いします。

もう一方の子どもたちと地域の絆づくり事業の進捗状況報告書を配布していますが、先日、3小学校区毎の事業運営委員会と連絡協議会が発足しました。今後は10月、11月の通学路花いっぱい運度の実施に向けて具体的に作業を進めていきます。次年度以降の活動についても検討を進めていきます。」と述べた。

<広報委員会>

野邊広報委員長から、「ききょう通信の57号の発行は9月に行ないました。内容についてお気づきの点やご意見をいただきたいと思います。次回の発行は58号として11月を予定しています。予定稿は未定の所がほとんどですが、これから各委員会、部会の活動を見ながら進めていきます。資料に記載の部分は現段階で予定しているものです。

ホームページの更新は、桔梗が丘夏まつり情報等です。今後は更に更新の頻度を高め、地域の話題、活動をアップしていきますので、ご覧いただきたいと思います。アクセスの状況は、4月から8月まで4,896件で月平均960件になっています。9月はさらに増加しています。これは更新を頻繁に行っていたらいる成果が現れているものと思います」と述べた。

その他、広報活動に関するアンケートを自治連合会を通じて行なっています」と述べた。

引き続き、議長は3委員会の報告について意見を求めた。

Q. 3小学校区毎の事業運営委員会の構成に民生児童委員が加わっているが、明確にするため「民生児童委員」と名前を記載していただきたい。

A. そのように変更します。「個人」も「サポーター」と表現します。(了承された)

Q. 11月の通学路花いっぱい運動の広報活動と、実際の活動の作業準備はどうなりますか。

A. 地域内の広報をします。作業内容の流れの準備も連絡協議会で作成します。又募金箱の準備もします。

Q. ほっとまち茶房のスタッフの状況はどうですか。

A. 11人です。それから候補者が約5人位あります。

<健康推進部会>

西宮健康推進部会長は、部会活動中の為、大垣副会長（総務委員長）から、別添え資料に基き概ね次のような報告があった。

「主な報告事項は、9月21日のリズム体操は30人の参加がありました。本日、9月28日（土）健康講座を開催しています。講師は三重大学の谷口正也教授、テーマは「生活習慣病を考える」です。今後の活動予定としては、11月4日のききょう健康まつり、11月10日のがん検診があります。以上報告します」と述べた。

<住民交流部会>

廣岡部会長欠席。夏まつりの決算報告以外に報告事項は無かった。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、部会活動について別添え資料に基き概ね次のような報告があった。

「9月19日（木）に定例部会を開催しました。

桔” ずセミナーの本年の参加は総数666人になりました。子どもの参加は中学生を含めて457人でした。詳細を資料に記載していますのでご確認ください。

桔梗が丘夏まつりにまめまめまつり、あめのつかみどり、フリーマーケットで参加しました。全て完売で余り大きな問題は有りませんでした。

公民館展に合わせて開催します「心の思い発表会」の役割分担を決めました。本年度は音楽部へのお礼を引き上げること、楽器の運搬費を負担することを確認しました。又参加者に募金をお願いします。

ふるさと歴史ハイキングは11月9日（土）。行き先を赤目に決定しました。詳細は資料を見てください。10月の地区回覧で参加者を募集します。

私の一冊文庫が7月19日から28日まで絵本展を開催しましたが、その反省会を持ちました。参加者は163人で子どもは60人と少なめでした。次年度に向けての課題は、参加した子どもたちの安全をどうするかということが挙げられました。定例会終了後、各学校に修了証書、感謝状を配布しました。以上が報告です」と述べた。

その他

議長は、3委員会の報告に対する意見を求めた。
出席者からは特に意見は無く報告は了承された。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、部会活動について別添え資料に基き概ね次のような報告があった。

「先程報告のあった桔梗が丘住居表示設置事業に関する検討会を9月14日に開催しました。先ず、街区表示板に「警」の文字は入れないことに決めました。その他は名張市ゆめづくり協働事業の申請に関する予算等について纏め、今後の事業の進め方についても合わせて検討をしました。

青色回転灯のパトロールは9月5日、20日、25日に実施しました。いずれの回も異常は見られませんでした。以上報告します」と述べた。

<快適環境部会>

特に報告事項は無かった。

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、部会活動について概ね次のような報告があった。

「今年度は民生委員の改選の年ですが、各区の区長・自治会長さんにご苦勞をかけましたが、当地区の新委員が全て決定しました。

現在、民生委員は高齢者の実態調査を進めています。グループホーム交流会を10月27日に実施します。以上が報告です」と述べた。

議長は3部会の報告について意見を求めた。

出席者からは特に意見は無く報告は了承された。

<その他の報告事項>

1. 辻森会長から、「平成25年度第1回名張市ゆめづくり協働塾の講座が9月26日市役所で開催され、当地域から5人が参加しました。今回の講師は皆さんよくご存知の帝塚山大学の中川幾郎教授でした。当日の資料を配布しています。これからの我々のまちづくりにも役立ちます。大いに参考にして下さい」と述べた。

2. 監事の田合氏の後任をどうするか意見交換があり、基本的には継続をしてもらう方向になるが、止む終えない場合は欠員で対応することになった。(処理は役員に一任)

以上で議事は終了した。

次回理事会は、平成25年10月26日(土)

時 間 午前9時30分より

場 所 桔梗が丘公民館 202号室

議 長

辻森保蔵 

議事録署名人

吉野寿司 

議事録署名人

梅本久子 

	副会長	副会長	総務委員長	書 記
				